

# いちばんぼし

第1学年  
学年日より  
NO.3  
H28.4.1

## はじめのいっぽ ~1週間が終わって~

入学式に対面式。教科書配布に学年集会。校内見学に風紀チェック。身体測定に聴力視力検査。クラブ紹介に委員係決めの学活。先週は、もりだくさんの内容でしたね。キミタチの顔を見ていると、少し疲れが見えてきたようにも感じます。

小学校と中学校の違いは何かと聞かれると、いろんな視点から答えることができると思いますが、新入生がまず感じる1番大きなもののひとつは、そのスピードの速さではないでしょうか。行事にしても授業にしても、ゆっくり丁寧に進んできた小学校とは全く違うスピードで物事が進んでいきます。中学校生活はたった3年間しかありません。3年後の進路決定に向けてキミタチが学んでいかなければならないこと、身につけていかなければならないことは本当にたくさんあります。だから、どうしてもスピードが速くなっていくんですね。

中学校生活に慣れるということは、中学校のスピードに慣れることだと言っていいかもしれません。最初は戸惑うことも多いかもしれませんが、しっかりとこのスピードについてきてください。

さて、また新しい一週間が始まります。今週は授業が本格的にスタートします。中学校生活はこれからが本番です。何事もどのようなスタートを切るかで、その先々の結果が変わってきます。「はじめのいっぽ」がどうなるのかは、キミタチの「意気込み」次第なのです。



クラブ説明会



身体測定後の集団訓練

## 授業前のあいさつ



授業がスタートしています。先生たちは教科書を持ってそれぞれの教室に入ります。初めての授業の始まり。キミタチは少し緊張の様子で先生の様子を見守っています。しかし、緊張しているのは先生たちも同じ。「このクラスはどんなクラスかな?」「授業を受ける雰囲気はどうか?」はじめてみんなと何かをする時って、きっとそういうものですね。

授業は、あいさつからスタートします。「起立」「気をつけ・休め・気をつけ」「お願いします」驚いたことに、どのクラスも(本当にどのクラスでもでした!)みんなそろって大きな声でしっかりとあいさつができています。すごいです!!

何事も「はじめのいっぽ」が肝心です。「ルーティン」を大切にしようなんて話もしてもらいました。たった1週間でたくさんの先生方から話をしてもらいましたが、そこで授かった中学校生活の種(タネ)が、キミタチの心の中でちゃんとちゃんと芽吹いているのを感じ取ることができました。

気持ちの良いあいさつから、気持ちの良い授業が始まります。授業は先生たちが作るものではなくて、先生とキミタチ生徒が一緒になって作っていくものだなあと改めて感じました。このあいさつは、私たちの学年の宝物。卒業まできちんと続けていきましょう。



## 課題もたくさん残っている

1週間、キミタチは想像以上に頑張ってくれました。できたことや、やってみようと努力していることもたくさん見つけることができました。しかし反対に、気になることもいくつか見つけました。1つ目は、「**集中力が続かない**」ということです。指示が出た時、初めのうちは顔をパツ上げて話し手の方を見ることができています。しかし、少し時間が経つ(たつ)と、すぐに下を向いたりキョロキョロしたり。授業でも先生が話をしていることについて何か知っていることがあると、先生が説明をしているにもかかわらずすぐに隣の人に話をしてしまったり…。2つ目は、「**親しき仲の礼儀が守られていない**」ということです。小学校時代から知っているから、少しくらいおちょくってみたり、きつい言い方をしても大丈夫だなんて思っている人がいます。昔からよく知っている者同士なのかもしれませんが、いつまでも小学生同士のつきあいをしているのはダメです。自分も中学生ですし、相手も中学生です。自分の発言や行動がどのような影響を与えるのか考えないといけませんね。もっといい自分に、もっといい学年になるためにも、自らの行動を振り返りましょう。キミタチはまだまだ伸びます!



